

◆KM 学会ソーシャルメディア部会主催

第1回「次世代ナレッジ・マネジメントカンファレンス」の概要報告

報告者：日本ナレッジ・マネジメント学会 ソーシャルメディア部会長 小石裕介

(写真提供：日本ナレッジ・マネジメント学会理事 松本優)

日時：2014年7月25日 13:30～16:30

場所：ヒカリエカンファレンス 11階 1104号室

★第一部：M&A・組織再編成の成否を握る社内SNS

発表者：マーバルパートナーズ 山口博氏

★第二部：組織変革のためのエンタープライズソーシャル

発表者：株式会社 Beat Communication 小石裕介氏

★第三部：シリコンバレーで広がる集合知のビジネス活用～Apple、Facebook、Google などの先端事例より～

発表者：日本ナレッジ・マネジメント学会専務理事 山崎秀夫氏

■第一部の様子【講師：山口 博氏】

★M&A・組織再編成の成否を握る社内SNS

M&A や組織再編成を実施した際に直面するさまざまな障害は、主として制度に関わるもの、業務プロセスに関わるもの、メンバーの行動様式に関わるもの、メンバーのマインド関わるものに大別されると説明。過去の M&A や組織再編成において、これらの障害がもたらした深刻な事態や、これらを解決するための具体的な取り組みを、山口氏自身が人事や人材開発の観点から推進した金融業界、IT 業界、製造業界の M&A や組織再編成の事例を紹介。

その中で、合併後の社内融和の手段としてお仕着せではない社内 SNS が大変有効だったともお話頂いた。



株式会社マーバルパートナーズ
プラクティス オペレーションディレクター
山口博氏の講演の様子



山口氏の講演を聞く参加者



(山口氏 スライドより)

■第二部の様子【講師:小石 裕介氏】

★組織変革のためのエンタープライズソーシャル

ナレッジ・マネジメントの領域では、情報工学でいう DIKW モデル、集合知、従来の経営学に基礎置く SECI に代表される組織内の知識に重きを置く理論の3つの流れが出来始めている。

さらに社員の多様性により能力開発が複雑化したことで、動機付けと能力開発を両立する手法としてエンタープライズソーシャル（社内 SNS）を活用したアプローチが有効に働く事例が増えていると解説。

社員の交流のみならず、多様性を活用したアイデア出し、知識共有、果ては製品開発まで、ワークスタイルそのものを変革するような試みを事例とともに説明。企業変革のツールとしてのエンタープライズソーシャルをどう活用すべきか具体的な手法について実務家の立場からお話頂いた。



株式会社 Beat Communication
日本ナレッジ・マネジメント学会
ソーシャルメディア部会長 小石裕介氏の講演の様子



小石氏の講演を聞く参加者

エンタープライズソーシャル（社内SNS） がもたらす効果に期待が寄せられている。

①多様性の活用

→個性、職歴、女性、中途採用、外国人採用など多様な視点

②同調を強みとしてきた組織構造の打破

→トップダウンに慣れている組織は同調効果が働きやすく、
硬直化を生む原因になっている

③人間関係の希薄化の解消

無形のスキルやナレッジの源泉となる
アイデア出しをサポートするアプローチ

Copyright (c) Beat Communication All rights reserved.

（小石氏 スライドより）

■第三部の様子【講師：山崎 秀夫氏】

★シリコンバレーで広がる集合地のビジネス活用 ～Apple、Facebook、Google などの先端事例より～

多様なアイデアが求められる創造の経済時代では、多様なアイデアは社員からも生活者や開発者からも求められると説明。

そうした中で、ナレッジ・マネジメントで注目されているのは集合知の活用であると解説。

集合知活用の秘訣は、社員の多様性や個性、開発者や生活者の玉石混交の知恵、組織の中に眠りこまされた社員の才能の発揮であると明言。

組織の内外での集合知活用事例を Facebook・Apple・Google を中心に解説頂いた。



日本ナレッジ・マネジメント学会
専務理事 山崎秀夫氏の講演の様子



山崎氏の講演を聞く参加者

■ 集合の秘密

ハッカーに代表される「集合知」は「マニア」のエネルギー、マニアはある意味で時間もお金も惜しまない。その人たちがアプリを作る。

プロシューマー(生産型消費者)やスタートアップ企業、雇われない働き方のフリーランスの強みはマニア要素

一方大手企業の「プロ」は大量生産・大量消費出来ない商品やサービスは作ってはいけない。

「プロ」は標準化、効率化を基準とする行動指針

(山崎氏 スライドより)

●参加者は暑い中延べ 21 名お集まりいただき、全体を通して活発な質疑応答が行われた。



質問の様子

●ソーシャルメディア部会 新規部会員の募集●

当部会では新規会員の募集も行っています。ぜひご参加お待ちしております。

ご希望の方は、部会長小石 (kmsj.social@gmail.com) までご相談下さい。